

次期山口県教育振興基本計画策定に係る関係者意見について

県内教育関係者に対し、次期計画で力を入れていくべき施策について意見聴取した。主な意見は以下のとおり。

【調査団体】

19 市町教育委員会、小学校長会、中学校長会、公立高等学校校長会、PTA 連合会、公立高等学校 PTA 連合会、公立幼稚園・こども園連盟
公立幼稚園・こども園 PTA 連合会

今後の重点施策について

①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実

- 学習指導は、学校の機能の中で最も重要なものである。
- GIGA スクール構想により整備された ICT 環境を最大限に活用して個別最適な学習の充実や誰一人取り残さない学力の向上に取り組むことが必要
- 学校は未来の社会に向けた準備段階の場であることから、自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく姿勢・意欲が必要

⑦キャリア教育・進路指導の充実

- 「キャリア教育の推進」と「進路指導の充実」を一体的に進めていくべき。
- 児童生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進していくことが必要
- キャリア・パスポートの活用を充実させることが必要
- インターンシップやガイダンスに ICT 等を活用することで、より効率的に多くの知識を得ることができるのではないか。

⑧教育DXの推進

- 高校を卒業する前の早い段階から IT 人材を育成する取組が必要
- ICT は不可欠なものであり、生活の中で ICT を安全かつ有効に活用するための資質能力を育成することが必要
- 授業等において児童生徒が主体的に個別最適な学びを進めるために、ICT の活用を積極的に推進する必要がある。
- ICT の活用や地域連携教育の推進等を通して、教職員の資質向上や意識改革による働き方改革が推進されることを期待する。

⑨グローバルに活躍する人材の育成

- 持続可能な社会を創造する上で、グローバル化や地球規模への課題に対応できる人材を育成することが必要
- 大学や企業と連携した研究や海外の大学との交流等を通して、グローバル社会に活躍できる人材の育成をめざしてほしい。

⑩新たな価値を創造する人材の育成

- 大きく社会状況が変わる中、グローバルな視点を持つことや起業家精神等をもって主体的に社会に関わる人材を育成することが大切
- 探究的な学びの質を高めることが重要である。やまぐち教育先導研究室が開発したプログラムを活用して、探究的な学びを深めていくための教員向け研修の充実を図る取組が必要

⑪いじめ・不登校等の諸課題への取組の充実

- コロナ禍で特に急激に増加している不登校児童生徒への対応は喫緊の課題。
- 生徒指導提要在改訂されたところであり、次期計画において生徒指導に係る取組を充実させる必要がある。
- 生徒指導上の諸課題の未然防止策として、人権・モラル教育の充実
- 不登校生徒の増加、要因の多様化により学校で対応することが困難な状況になっている。SCやSSW等の外部専門家との連携強化を一層図る必要があるのではないか。

⑫特別支援教育の推進

- 特別支援教育の専門的な知見や技能を有する教職員が圧倒的に足りず、全県を挙げて人材育成を含めた特別支援教育のさらなる推進を望む。
- 特別支援学級や通級を含め、ニーズの高まる特別支援教育のさらなる施策や取組の推進が必要
- 研修と切れ目のない支援体制の充実を図ることが必要

⑬多様なニーズに応じた児童生徒への支援の充実

- 夜間中学校の設置や日本語指導の必要な児童生徒への支援、不登校等により学び直しの必要な生徒への支援に係る取組が必要ではないか。
- 障害のある生徒や外国籍の生徒など、多様なニーズをもった生徒が学ぶためには、介助員や支援員の配置が必要
- 児童虐待やヤングケアラーなど多様化・複雑化する現代課題に対して、教育だけでなく多様な主体による包括的な取組が必要

⑭地域連携教育の充実

- 全ての小・中・高・特別支援学校にCSの仕組みを導入していることは本県が全国に誇れる強み。次期計画でも前面に押し出していくべき
- 学びや育ちをつないでいくためには、社会総がかりによる組織的・継続的・一体的な教育を推進することが重要

⑯部活動改革の推進

- 教職員の働き方改革を推進する上で、大きな改善が望めるのは部活動改革である。地域での受け皿の確保など改革を進めていく必要がある。
- 部活動がこれまで担ってきた意義や成果を受け継ぎながら、自己実現が果たせるよう、生涯学習の視点による未来志向で持続可能な地域のスポーツ活動、文化活動となってほしい。

⑰安心・安全で質の高い教育環境の整備

- 校舎の老朽化が進んでいる学校が多くあり、生徒にとって過ごしやすい環境が維持できるように、計画的に新築や長寿命化改修を行うことが必要

⑱学校における働き方改革の推進

- 優秀な教職員の確保と資質能力の向上のためには、教職の魅力向上が必須。教職員の負担軽減とともに、やりがいを持って働ける環境を整えることが重要
- 子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教職員の人材確保・資質能力の向上が喫緊の課題だと考える。教職員の協働体制の推進や、研修体制の一層の充実、働きがいの向上などに期待する。

⑲教員確保と教職員の資質能力の向上

- 若手教員が急増している中、教員の確保と人材育成が喫緊の課題
- 教員志願者数の減少は全国的な状況で本県も同様である。働き方改革の推進や教員採用の仕組みの工夫など総合的に進めていくことが必要
- 現場教員には新たな資質能力が求められるようになり、教員が学び続けることが今まで以上に必要である。採用後の資質能力の向上や学びへ向かうモチベーションの維持は絶対に必要
- 介護等によりやむを得ず離職した者の復職等に向けた取組が必要

その他

- 第1章の「子どもの状況」に関して、具体的に子どもの意見を取り入れたものがあると良いのではないかと。